

平成 27 年 3 月 5 日

日本国際情報学会安全保障研究部会
第 4 回研究発表会報告

この度、安全保障研究部会は顧問の乾一字先生を囲み、「沖縄」を主テーマに第 4 回勉強会を開催致しました。以下、その概要についてご報告致します。

【開催日】

2015年1月17日

【場 所】

日本大学第2別館4階会議室

【概要】

10時～10時30分 乾一字顧問あいさつ

[研究発表]

10時30分～12時 宮田敦司 「中国の海洋戦略と沖縄」

13時～14時30分 泉谷清高 「燃料の国家備蓄の課題」

14時30分～16時 中田まゆみ 「2020年に向けた空港容量の拡大について」

16時～17時 村上恒夫 「沖縄独立」

17時～18時 星亮一 「沖縄とフクシマ」

【総評】

在沖縄米軍普天間飛行場の辺野古移設問題、尖閣諸島の領有権を主張する中国の公船による領海侵犯の常態化など、わが国の安全保障と主権をめぐる問題を中心に、当部会員各位が研究発表を行った。

これまで北朝鮮の研究を数多く手がけてきた宮田氏による、中国の海洋戦略と沖縄についての詳細な分析や、首都圏上空の管制権の大部分が米軍管轄下にある、国民には殆ど知られていない現状を提示した中田氏の発表などにより、主権国家とは何かについてあらためて考える機会となり、熱を帯びた質疑が時間いっぱい繰り広げられた。

